

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市都市計画審議会小委員会(第2回)				
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 都市計画課 電話042-769-8247(直通)				
開催日時		平成26年2月5日(水) 10時~11時40分				
開催場所		相模原市立勤労者総合福祉センター(サン・エールさがみはら) 2階 第1研修室A				
出席者	委員	6人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	10人(都市建設局長、都市計画課長、他8人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 第7回線引き全市見直しについて				

審 議 経 過

審議会の冒頭、出席委員の人数が定足数に達していることを確認した。

主な内容は次のとおり。(は委員長の発言、 は委員の発言、 は事務局の発言)

1 第7回線引き全市見直しについて

事務局から「本市の状況の分析、区域区分のあり方の検討」について説明を行った後、質疑を行った。

様々な指標により分析した結果を聞いていると、現在の相模原市は相模原と津久井の異質な都市が一緒になったという印象を受けた。

土地利用現況図等について、相模原市だけでなく町田市など市境を接している近隣の状況も入れた方が繋がりがわかり、なお理解が深まる。

津久井広域道路は将来の津久井のまちづくりに与える影響も大きいので、現在都市計画決定している区間だけでなく、構想区間も図面に示してほしい。

今回の資料は、都市計画道路の整備状況を示したもので、現在都市計画決定されている区間以外のいわゆる「構想区間」はお示ししていない。

生活圏の状況を把握する意味でも、津久井都市計画区域と相模湖都市計画区域から、周辺地域への移動時間について示してほしい。

人口動向について、何年先を見据えるのかという点が重要。将来の予測も前回示されてはいるが、さらに細かい単位(字別など)での将来の人口予測等を示すことはできないか。

本市の政策研究機関である「さがみはら都市みらい研究所」では、市域の将来人口推計を公表しており、こうした調査において「字別」などでの人口予測等を行っていないか確認する。

都市計画マスタープランの将来都市構造など、市の将来像も考慮しながら検討したい。

開発の実績や、都市基盤整備の状況等をマッピングして示すことができれば、さらに議論が深まると思う。

今回は市内3つの都市計画区域の現況や特性、都市の分析、都市計画区域の見直しの方向性について議論を行ってきたが、都市計画区域の見直しの方向性としては、資料で示された3案のほかに、生活圏の繋がりや市街化区域の要件を満たしている地区があることを考慮すると、津久井都市計画区域と相模原都市計画区域を統合するという案も考えられるのではないかと思う。

そのことも含め、今後の議論については、実際に現地を確認することなどを通じて、さらに検討を進めていくこととしたい。

相模原市都市計画審議会小委員会(第2回)委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	加藤 仁美	東海大学工学部教授	副委員長	出席
2	後藤 純雄	麻布大学生命・環境科学部 環境科学科環境リスク学教授		出席
3	田淵 諭	多摩美術大学美術学部教授 環境デザイン学科長		欠席
4	西浦 定継	明星大学理工学部教授	委員長	出席
5	山本 国孝	相模原市農業委員会 会長		出席
6	座間 進	相模原商工会議所専務理事		出席
7	坂本 久	神奈川県宅地建物取引業協会副会長		出席